

新ごみ処理施設の試験運転は2月から開始

新しい施設の名称は「エコパーク寒川」

岳北広域行政組合が岡山地区藤沢に建設している新ごみ処理施設の名称が「エコパーク寒川」に決定されました。

名称の選定にあたっては、飯山市・木島平村・野沢温

泉村の岳北3市村で名称を公募。応募のあった56作品をもとに3市村の市村長、議会議長、住民代表などで構成する選定委員会で新名称について協議が行われ、決まった。その結果、人間と自然の調和を表す「エコ」、広く住民の憩いの場となるよ

うな施設でありたいという願いを込めた「パーク」、新施設のすぐ脇を流れる清流「寒川」から、「エコパーク寒川」の名称に決定されました。また応募作品の中から採用作品はありませんでしたが、佳作一点が選定されました。



着々と工事が進む新施設

新施設 一般開放のお知らせ

新しい施設の一般開放を次のとおり行います。ご近所お誘い合わせのうえ、ぜひお出かけください。

- 「一般開放」開催日時
平成 21 年 1 月 25 日 (日)
午前 10 時～午後 3 時
(4 月にも一般開放を行う予定です)

新施設のごみ受け入れ開始は来年2月2日から

新しい施設の本稼働は来年 4 月 1 日からですが、12 月中には運転に必要な設備をすべて整え、1 月から準備に入り、2 月 2 日(月)から試験運転を開始します。

これに伴い、現在の岳北クリーンセンターでの受け入れは 1 月末をもって終了

より一層の安心・安全な地域を目指して

青色防犯パトロールが始まりました

児童生徒の登下校時の安全、並びに犯罪・事故・災害の被害防止、地域の安全に対する関心の向上を図ろうと、青色防犯パトロールが始まりました。

青色防犯パトロールは、市内小学校に配置されている軽トラックなど計9台の車両の屋根に青色回転灯、前後左右に防犯パトロールのステッカーを貼り市内を巡回するものです。パトロー

ル開始にあたっては、各小学校2名の教職員が警察署の講習を受講しており、今後2人1組で随時パトロールを行っていく予定です。11月11日には市役所前で出発式が行われ、青色防犯パトロールカーが一斉に出発していきま

す。これを機に、より一層の安全な地域づくりが推進されていくことが期待されます。



児童・生徒をはじめ地域の安全を見守っていく青色防犯パトロールカーが一斉に市役所を出発(11月11日の出発式)

農業委員会委員選挙人名簿記載申請書

市選挙管理委員会では、12月に各区長さん等を通じ、「農業委員会委員選挙人名簿記載申請書」を配布しました。農業委員会の選挙人は、この申請書をもとに毎年1月1日現在で調整される「農業委員会選挙人名簿」に記載している人だけが有権者となります。該当する世帯の方は期限までに申請書の提出をお願いします。

生まれ、10アール以上の農地の耕作業務を営む方か、同居の親族またはその配偶者で年間60日以上耕作に従事している方。

対象者
平成元年4月1日までに

新ごみ処理施設「エコパーク寒川」への行き方(2月2日から)

※桑名川・藤沢区内を通行の際は、危険防止のため最徐行をお願いします。

お問い合わせ
岳北広域行政組合 清掃施設建設係 ☎48333

市長の 悠久のふるさとづくり ⑦

飯山市長 石田正人



飯山を囲む四方の山に三回の降雪があると今度は里に雪が降る。そんな様子をうかがいながら冬越しの野菜の取り入れをする。その昔から飯山の山々は春は緑色、夏は濃緑、秋は紅、冬は白とその表情を変え、その時その時の生活のあり方を私達に示してくれています。

社会の大きな変化により私達の生活も大きく変わってきました。これまでの自然と共生する生活や共存共栄の社会の絆が崩れ始め、重大な不正が至る所で発覚しています。しかし社会が変貌しても、四季折々の表情を見せる山々を見ると、自然との共生や山を中心とした飯山の昔からの生活を思い出させてくれます。

先日、岡山地区土倉ご出身で、ふるさとの教育のために多額のご寄付をいただいた桑原さんご夫妻にお会いし、市民を代表し心からの感謝の意を申し上げさせていただきました。その際、山の営みを中心とした当時の暮らしをお聞きしました。父が山で木を切り「楸の柄」を作る。そして当時小学校低学年だった桑原さんとお兄さんで岡山村、遠くは野沢温泉や栄村まで売り歩いたというお話、またなかなか売れない時にまとめて全部買ってもらい人の心の温かさに触れたことなど、満足に学校に通うことはできなかったが、その時の生活が後の人生に大きく生かされたというお話をお聞きしました。

近年、ナラを中心とした山枯れが問題となっています。一定の年輪を重ねた樹木は山枯れの原因となる虫が入りやすくなるのだそうです。昔は冬の燃料として木が多く使われていたのですが、近年は放置される山が増えていることが山枯れの一因になっていると言われています。一年の終わりに自然を眺め自分を省みて、新しい年を迎えることも大切なことではないでしょうか。